



a. 教室構造補修 構造補修が完成した教室の内部

カリニ小学校は、事前調査段階では、校長が保護者の活動参加に悲観的であった。しかし、学校運営能力研修をとおして保護者の活動意欲が高まり、2教室の構造補修を順調に完了させた。

この2教室は、現在7年生と8年生の教室として使用している。写真は、8年生の授業の合間に撮影したものである。教室内の周りに設置したマツプレールを利用して補助教材が貼り付けられている。

撮影場所: マシガ準郡エカラカラ準地区カリニ小学校
撮影日: 2016年6月3日
ファイル名: 1606sa005



c. リテンド(土留め)壁建設 リテンド壁建設にむけた覚書の締結

カオニョウエニ小学校は、教室基礎周りの土壌が流出し、基礎が露出しており、教室が倒壊する危険がある。このため基礎周りにリテンド壁を設置することで保護者・校長と合意した。この壁と教室基礎との間に土砂を埋め戻すことで教室の安定を確保する。事業を行う上での保護者と当会とのそれぞれの役割と責任を再度確認した上で、校長と学校運営委員会議長が署名した。

なお、同校は、2016年3月時点で、リテンド壁と1教室目の構造補修を完了し、2教室目の作業を継続している。

撮影場所: マシガ準郡ミアンゲ二準地区カオニョウエニ小学校
撮影日: 2015年7月16日
ファイル名: 1507km001



e. 保護者の環境活動 Aフレームを用いた土壌保全研修

同校では、敷地が傾斜しており、雨水による土壌浸食が深刻であるため、保護者への土壌保全研修を行なった。

土壌保全のためには、まず、等高線を測ることが重要である。Aの形に組んだ木の棒に石を下げ、等高線を測ることが可能となる。当会の専門家より、土壌侵食の種類や原因を説明した後、Aフレームの実技演習として等高線の測量を実施した。

なお、同校では、草地化研修や乾燥野菜と給食での活用などの研修を行なった。

撮影場所: マシガ準郡ミアンゲ二準地区カンガンギニ小学校
撮影日: 2015年10月7日
ファイル名: 1510ji013



a. 地域リーダー保健研修 地域リーダー保健研修の実施

地域リーダー保健研修では、地域保健単位(CHU)を形成する対象村の村長老やリーダーを招待し、プライマリヘルスケアの概論、育成する地域保健ボランティア(CHW)の村での意義・役割を説明した。また、住民がCHWを支援を必要とする必要性を提起し、リーダーの協力も不可欠であることを確認した。この研修が、各村から無報酬で保健活動に取り組む意欲の高い住民をCHW候補に選出することに繋がることをめざしている。

この研修は、2準地区で3回実施し、地域リーダー131人が参加した。

撮影場所: マシガ準郡エカラカラ準地区ジャシヨホテル
撮影日時: 2015年4月21日
ファイル名: 1504sae15



b. CHWを知らせるための村訪問 ランガリニ村訪問の実施

地域保健ボランティア(CHW)を知らせるための村訪問は、多くの住民にCHWの意義・役割を理解してもらうこと、その理解の上で村世帯数の過半数が、村を代表するCHW候補を住民自身で選出することが目的である。住民がCHWの活動を積極的に支援することで、CHUの活性化へとつなげることをめざしている。写真は、ランガリニ村の第1回目訪問で、同行した準地区長が、CHWの意義について住民に説明している。

なお、本村では、第2回目の訪問でCHW候補を選出できた。また、同準地区長は、多くの村訪問に同行し、住民へCHWの意義を熱心に説明した。

撮影場所: マシガ準郡ミアンゲ二準地区ランガリニ村
撮影日時: 2015年8月12日
ファイル名: 1508hn181



c. CHW育成研修 第1週目の理論研修

地域保健ボランティア(CHW)育成研修は、マシガ準郡保健局と当会との協働で、保健省のCHWマニュアルに沿って4週間で実施する。そのうち第1週目と第3週目が理論研修で、各村から選出されたCHW候補に対して、当会専門家・保健局行政官が講師となって保健研修を行なう。

第2週目は、CHW候補が自分の村で家庭訪問して、各世帯の保健情報を収集する。写真は、公衆衛生技官が、家庭訪問で使用する記録簿の使い方をCHW候補に教えているもの。

撮影場所: マシガ準郡ミアンゲ二準地区ミアンゲ二小学校
撮影日時: 2015年11月27日
ファイル名: 1511grc054



a. 準郡レベルの行政関係者会議 マシंगा準郡保健局とのCHU会議

エカラカラ準地区で地域保健単位(CHU)を設立するに当たり、準地区全体の人口・世帯数の調査を行なったところ、1CHUあたり5,000人が規定であるのに対し、エカラカラ準地区長が10,000人を超える人口を提示していることを保健局との会議で報告。保健局長より、将来の保健活動の効果的な実施のため、CHUは規定規模に近いものであるべき、との意向が示され、同準地区では一部地域を対象に1CHUを形成することとなった。

撮影場所: マシंगा準郡マシंगा準地区マシंगा準郡病院

撮影日時: 2015年3月18日

ファイル名: 1503sae08



a. 準郡レベルの行政関係者会議 CDFマシंगा事務所との教室補修の協議

国会議員選挙区開発基金(CDF)マシंगा事務所を訪問し、財務責任者と、CDFによる教室補修への当会の協力について協議した。当会からは、3小学校を訪問し、CDFによる教室補修へ助言することで合意し、専門家派遣の準備をしたことを報告した。

財務責任者より、CDFには教室建設の標準仕様はあるが、補修は標準仕様がないため、効果の不明確な補修が行われている実態が報告された。状況改善のため、当会の補修マニュアルを提供することで合意した。

撮影場所: マシंगा準郡マシंगा準地区CDFマシंगा事務所

撮影日: 2015年9月11日

ファイル名: 1509kh031



c. 準地区レベルの行政関係者会議 ミアンゲニ準地区長主催の村訪問会議

地域保健ボランティア(CHW)を知らせるための村訪問をすすめる中で、一部の村での住民の参加状況が悪く、世帯数の過半数が集まらず、CHW候補の選出ができない状況が続いた。このため、準地区長が、これら課題を抱える村の村長老とリーダーを招集して、CHWの意義・役割を再確認して、住民参加を促す取り組みについて協議した。当会スタッフと保健局スタッフでこの準地区のCHWを担当する予定の地域保健普及官(CHEW)も会議に出席した。

撮影場所: マシंगा準郡ミアンゲニ準地区ミアンゲニ準地区長事務所会議室

撮影日時: 2015年9月23日

ファイル名: 1506hn646